

I. 2019年度の環境行動計画

朝日新聞社環境行動計画(全社)

朝日新聞社は、2001年1月に朝日新聞環境憲章を制定し、05年9月には、10年度までにCO₂を01年度比で10%削減する環境自主行動計画を立てました。また11年度からは、改正省エネ法が要請する省エネに積極的に取り組み、企業活動に必要なエネルギーの利用効率「エネルギーに関わる原単位」を年平均で1%以上削減する目標を掲げています。

朝日新聞社行動規範では、全従業員が環境行動計画書に沿って環境改善に取り組み、さらなる高い目標を立てていくと規定しています。このため、全社で取り組むべき重要課題については、朝日新聞社環境行動計画(全社)として取り上げ、各本支社別の環境行動計画に反映させていくことにしています。

【2019年度環境行動計画】

1. 大幅な節電の実行

全社的に季節、昼夜を問わない恒常的かつ恒久的な使用電力の削減に努めます。

2. 今後も省エネとCO₂削減を推進

改正省エネ法が要請する年平均1%以上のエネルギー原単位の削減を目指します。10年度までのCO₂10%削減目標は達成しましたが、引き続き削減を推進します。

3. オール朝日で環境行動へ

改正省エネ法の施行で、総局、支局を含む朝日新聞社の全組織のエネルギー使用状況の把握が義務づけられました。グループ企業やテナントの協力も得て、オール朝日で環境改善に取り組み、企業の社会的責任を果たします。

4. 紙を大事に使う

大量の新聞を連日印刷している新聞社として、普段から紙を大事に使います。このため、日常業務のペーパーレス化を積極的に進めます。

5. 環境にやさしい新聞輸送

バイオ燃料の有効利用など、「環境にやさしい新聞輸送」を推進します。

【計画の進め方】

1. この計画推進の総括責任者は、環境担当役員とします。

2. 各本支社の環境委員会は、この計画を各本支社の環境行動計画に組み込みます。

3. この計画、各本支社の計画は毎年更新し、それらの実績を環境報告書にまとめます。

以上